コロナ禍の中で成果披露
市民文化祭が盛況で閉幕

第59回城陽市民文化祭は11月12日に開幕し、同20日に閉幕しました。

コロナ禍の影響で「囲碁大会」と「お茶席といけ花展」「川柳大会」は中止となりましたが、その他のイベントは予定通り実施し、盛況のうちに終えました。


クリエイター作品展

【市民アート展】

段ボールで作られた世界遺産・平等院の模型が展示、また仏像も訪れた人の目を引き好評でした。水彩画、油絵、木版画、水墨画、写真と今年も多岐にわたる作品が集まりました。

【市民音楽祭】

詩吟では、書道とのコラボレーションが行われたり、プロジェクターを使った視覚効果の演出が行われました。

【クリエイター作品展】

手工芸連盟の作品が華やかでした。また高齢者クラブの作品は、いつもながらレベルが高く見ごたえを感じさせました。切手展は貴重なものも展示され、目を楽しませてもらえました。

【煌めき☆舞台フェスタ】

バレエの作品の中にはクラシックバレエでなく、ミュージカル映画の「錨を上げて」を思い起こさせるようなセーラー服を来た踊り子たちのダンスもあり、楽しさあふれました。

フラダンスは見ているだけで心が癒されるような舞台。ヒップホップ系のダンスにもコロナ禍で沈みがちな気持ちにあふれる元気をもらいました。

【俳句大会】

例年のように開催されましたが、参加者の減少傾向が課題のようです。入賞作品は別項に記載してます。


市民音楽祭


煌めき☆舞台フェスタ

あてものくじが大好評
JOYO産業まつりが開催

去る11月3日(祝)に文化パルク城陽にて開催された城陽商工会議所主催の「JOYO産業まつり」は3年ぶりの開催ということに加えお天気にも恵まれ、大勢の人出があり大いに賑わいました。文化芸術協会も大きなテントを張り久々のブース出店となりました。これまで恒例となっているチュロスの販売は歩きながら食べながら楽しいディスプレイの可愛い小物やクリスマス飾りなどが目を引きどんどん品薄に。次々と作り足して販売するほどの売れ行きでした。また、プラムホールでは邦舞連盟の「鳳凰流あじろ木会・道扇会」による新舞踊と民舞の5曲を披露。秋のイベントを彩ることが時節柄少し心配ということで方向転換、お祭りの出店に欠かせない「あてものくじ」を実施しました。当初は本当にそれが喜ばれるのか半信半疑でしたが開店時間前から人が集まり始め、お目当ての商品を狙っての行列ができるほどの大盛況、わずか1時間半で店じまいとなりました。手工芸連盟はいつもりました。続く「おかげ踊り保存会」の発表の際には協会の「梅若長寿恵乃会」が三味線の伴奏と歌で出演しました。このほか水上ステージで繰り広げられた一般公募による「市民ステージ」に同じく加盟サークルの「ワンネス・ラインダンスJOYO」が仮装姿でダンスを披露。ちびっ子たちの飛び入り参加もあり大いに盛り上がりました。


あてものくじが大好評


手工芸連盟の手作り品も大人気


水上ステージでワンネスラインダンス

岩澤明子さんに優秀賞
アートギャラリー2022

「アートギャラリー2022」が今年も文化パルク城陽で開かれ、優秀賞に協会会員の岩澤明子さんの絵画「パステルカラーのいちじく」が喜ばれるのかと半信半疑でしたが開店時間前から人が集まり始め、お目当ての商品を狙っての行列ができるほどの大盛況、わずか1時間半で店じまいとなりました。手工芸連盟はいつもりました。続く「おかげ踊り保存会」の発表の際には協会の「梅若長寿恵乃会」が三味線の伴奏と歌で出演しました。このほか水上ステージで繰り広げられた一般公募による「市民ステージ」に同じく加盟サークルの「ワンネス・ラインダンスJOYO」が仮装姿でダンスを披露。ちびっ子たちの飛び入り参加もあり大いに盛り上がりました。


優秀賞　岩澤　明子さん作
「パステルカラーのいちじく」


文協会長賞
中山　萌愛さん作
「立つ」

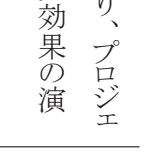

入賞　藤原　和利さん作
「通りゃんせ!!通りゃんせ」

「アートギャラリー2022」が今年も文化パルク城陽で開かれ、優秀賞に協会会員の岩澤明子さんの絵画「パステルカラーのいちじく」が喜ばれました。

また、会員の藤原和利さん作「通りゃんせ!!通りゃんせ」が入賞しました。

今年もレベルの高い作品が集まった　事業の中でお二人の作品が賞に輝いたことは嬉しいことです。

インタビュー
市民活動支援センター・奥田奈々美さん



このコーナーでは、当協会と関係のある団体で活躍されている方を紹介させていただきます。

今回は、文化パルク城陽の市民プラザにある市民活動支援センターの奥田奈々美さんにお聞きしました。

同センターは、市民が行う自発的で公益性のある非営利活動を支援し、様々な問い合わせや行政・企業・各種団体とのつなぎ役の機能も果たしているとのことでした。また、奥田さんは、地域における様々な活動にも取り組まれ多方面で活躍されています。

当協会も文化芸術活動を通して、どのように地域に貢献できるのかを考えていかなければと感じたインタビューでした。

市民文化祭　俳句大会の入賞作品

1位　市長賞
吹く風と同じ声して残る虫　伊部　一郎

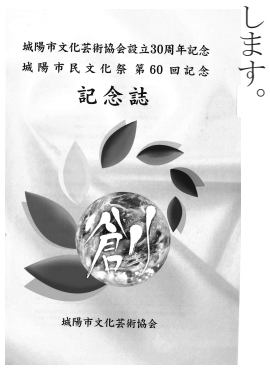
2位　教育長賞
堂々と芭蕉破れてゐたりけり　緒方　順一

3位　城陽市文化芸術協会会長賞
介護てふ絆もありて夜の長し　松本　昭子

4位　俳句連合会会長賞
落葉掃く乾ききつたる音を掃く　平万　紀子

記念誌が完成

周年事業のひとつ、協会の記念誌が出来上がりました。カラー刷りページも多く、思い出にあふれた1冊。年明けには配布します。



完成した記念誌

編集部のつぶやき

協会の活動趣旨は様々であり会員の中には「練習することが一番の楽しみ」というところで満足されている方も少なからずおられるようです。それはそれでよしとして、支援することも協会の役割の一つと考えれば良いのではないでしょうか。

会員数が減少が今一番の悩みの種ですが、それに対して即効的な対策は無くとも、大切にしたいのは今の会員がそれぞれに楽しく満足できて、更に協会の事業に参加していただいている皆さんも楽しめること、まずはそこだと思います。

発行　城陽市文化芸術協会　〒610-0121　城陽市寺田樋尻48-19　TEL0774-55-1210 / FAX 0774-54-7506　JOYO CULTURE & ARTS ASSOCIATION